

# 第四次久留米市環境基本計画（原案）について

## 目次

- 1 次期計画の策定にあたって . . . . . P 1
- 2 次期計画の概要について . . . . . P 5

# 1 次期計画の策定にあたって①

## 久留米市環境基本計画

- ・ 環境基本条例に基づき、環境施策の基本的方向を定める
- ・ 市の総合計画を環境面から総合的に推進

	めざす環境像	基本目標
第一次環境基本計画 (2000～2010)	持続的発展が可能な 環境共生都市・久留米	①健康で文化的な快適環境の創造 ②自然と人間との共生の確保 ③循環型社会の実現 ④地球環境保全に配慮したまちの実現 ⑤全ての主体の参加による環境共生都市の実現
第二次環境基本計画 (2011～2020)	環境先進都市 ずっと暮らしたい心地よいまち グリーンエコシティくるめ	①低炭素社会の構築 ②循環型社会の構築 ③豊かな自然環境の保全と共生 ④快適な生活環境の保全 ⑤市民環境意識の向上と協働の促進
第三次環境基本計画 (2021～2025)	自然と人間とが共生し、持続的な 発展が可能な都市・久留米	①脱炭素社会の構築 ②循環型社会の構築 ③自然共生社会の構築 ④快適な生活環境の保全 共通の視点：協働による持続可能な地域社会づくり

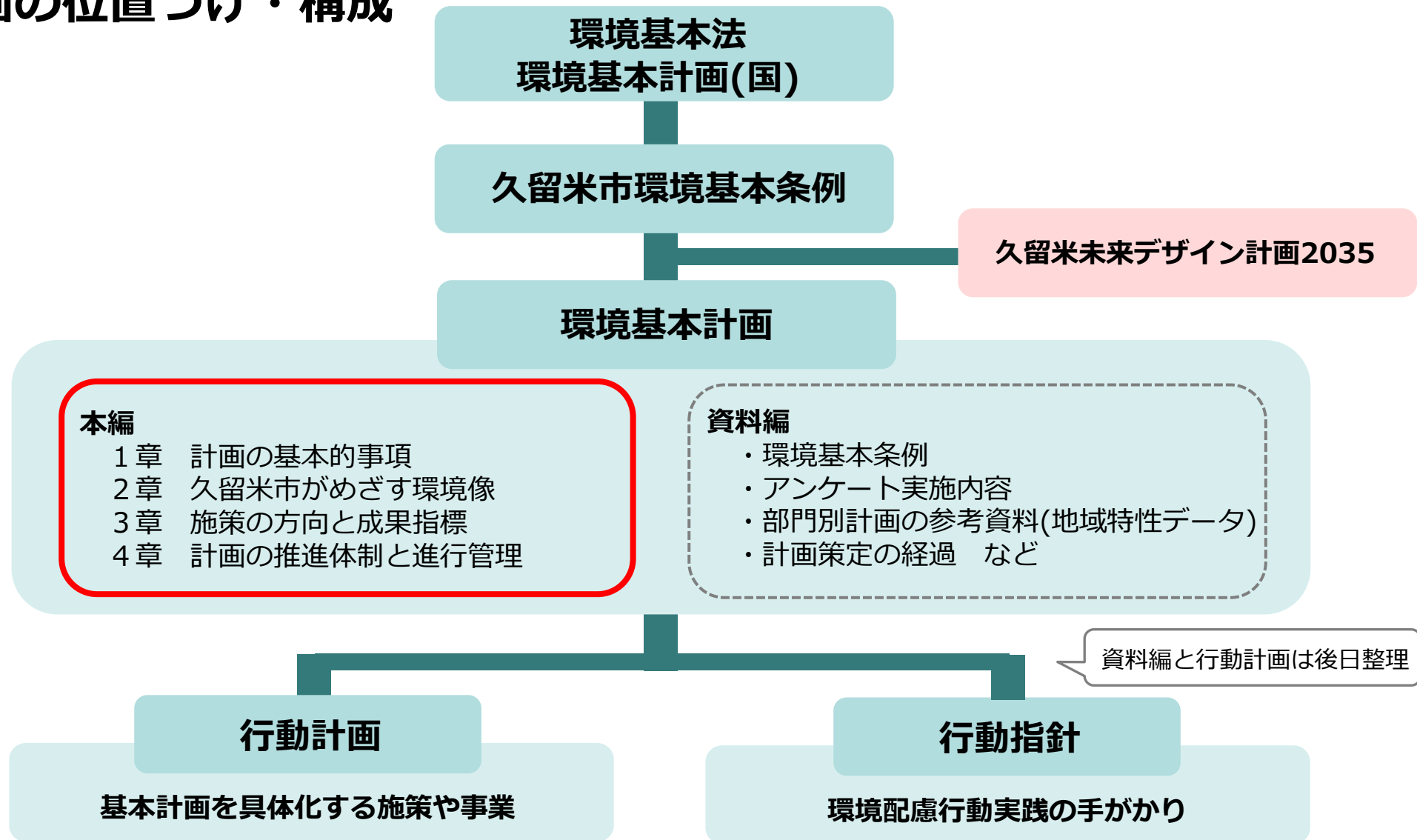
環境問題の複雑化・深刻化  
地球規模の環境危機への対応  
協働深化の必要性の高まり

取組の継続 + 時代の趨勢を見据えた指針づくり

次期の環境基本計画の策定

# 1 次期計画の策定にあたって②

## 計画の位置づけ・構成



# 1 次期計画の策定にあたって③

## 計画の策定の体制

- **環境審議会**

計画策定に向けた審議を行う

- **市民参画**

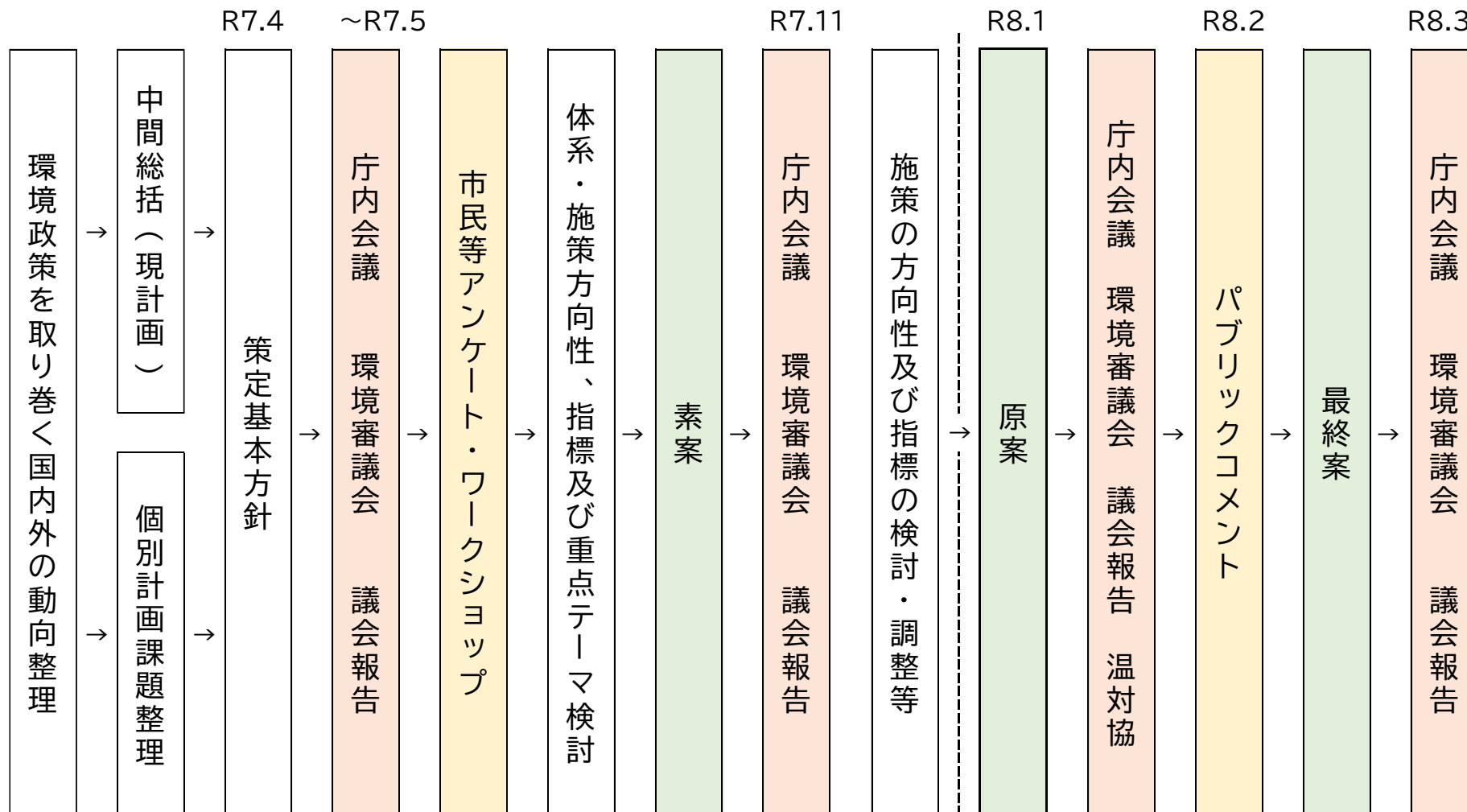
ワークショップやパブリックコメント等の実施により、幅広く市民の声を反映させ、より実効性のある計画を目指す

- **庁内体制**

ゼロカーボンシティ推進本部で全庁横断的に策定作業を進める

# 1 次期計画の策定にあたって④

## 環境審議会での審議など



## 2 次期計画の概要について①

名称	第四次久留米市環境基本計画
計画期間	5年間(2026～2030) ※国の環境基本計画や市の総合計画と整合
めざす環境像と まちの姿	【環境像】 自然と人間とが共生し、持続的な発展が可能な都市・久留米 【まちの姿】市民や事業者などすべての主体が高い環境意識を持ち、自ら取り組み、連帯して行動するまち(環境先進都市)
基本・共通目標	●脱炭素社会の構築 ●自然共生社会の構築 ●協働による持続可能な地域社会づくり ●循環型社会の構築 ●快適な生活環境の保全
特徴	・関連計画との連動制・一体性 ・パートナーシップ型の計画 ・わかりやすさを重視

## 2 次期計画の概要について②

### (1) 脱炭素社会の構築

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>●再生可能エネルギーの導入促進</li><li>●省エネルギー・蓄エネルギーの普及</li><li>●脱炭素型ライフ・ビジネススタイルの定着</li><li>☆脱炭素経営への転換推進</li><li>●次世代自動車の普及や公共交通機関等への転換</li><li>●ZEH・ZEBなど建物脱炭素化の推進</li><li>☆エネルギー循環の仕組みに関する研究</li><li>●気候変動の影響の低減</li></ul> <p>※建物・産業の脱炭素化の重点的推進を 目標の考え方に追加</p> <p>※気候変動への適応を施策の方向に追加</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・温室効果ガス排出量の削減<ul style="list-style-type: none"><li>【▲50%(2030年度)】</li><li>【▲63%(2035年度)】</li><li>【▲75%(2040年度)】</li></ul></li><li>※2035年・2040年目標を設定</li> <li>・再生可能エネルギーの導入量<ul style="list-style-type: none"><li>【219MW(2030年度)】</li></ul></li></ul>

## 2 次期計画の概要について③

### (2) 循環型社会の構築

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>●リデュース・リユースの推進や分別・リサイクルの徹底</li><li>●プラスチックごみ、食品ロスの削減</li><li>☆再生材やバイオプラスチックを利用した製品の利用促進</li><li>●焼却処理の際の熱回収や再資源化の実施</li><li>●産業廃棄物の適正処理に向けた監視・指導</li><li>●安定的なごみ処理施設の運営・整備</li></ul> <p>※循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行推進を 目標の考え方に追加</p>	<p>市民一人一日あたりのごみ排出量</p> <p>【804g(2030年度)】</p>

## 2 次期計画の概要について④

### (3) 自然共生社会の構築

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>☆生物多様性の普及啓発・行動変容促進</li><li>●希少種の保護、外来生物の駆除</li><li>☆人と動物の共生社会づくりに関する取組の充実</li><li>☆ネイチャーポジティブ経営への理解と移行促進</li><li>●自然環境の管理と活用</li><li>●生態系の管理、保全と再生</li><li>☆流域治水対策</li><li>●子ども達の育成や保全活動を担う人づくり</li></ul> <p>※自然再興(ネイチャーポジティブ)実現への貢献を 目標の考え方に追加</p>	<p>自然や生きものを守るための 活動や行動をしている人の割合 【85%(2030年度)】</p>

## 2 次期計画の概要について⑤

### (4) 快適な生活環境の保全

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>●公害の防止、規制等の遵守指導</li><li>●法令に基づく環境モニタリングの実施と情報提供</li><li>☆協働による環境美化の強化</li><li>●市街地緑化の推進</li><li>☆海洋プラスチックごみ流出防止のための美化活動推進</li></ul>	周辺環境の満足度 【80%（2030年度）】

## 2 次期計画の概要について⑥

### (5) 協働による持続可能な地域社会づくり

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
☆協働による学習・啓発の実施 ●啓発イベントの開催や情報発信 ●ICT活用による環境情報の提供 ☆あらたな協働の仕組みづくり	市民、事業者との協働による 啓発事業の実施回数 【120回(2030年度)】

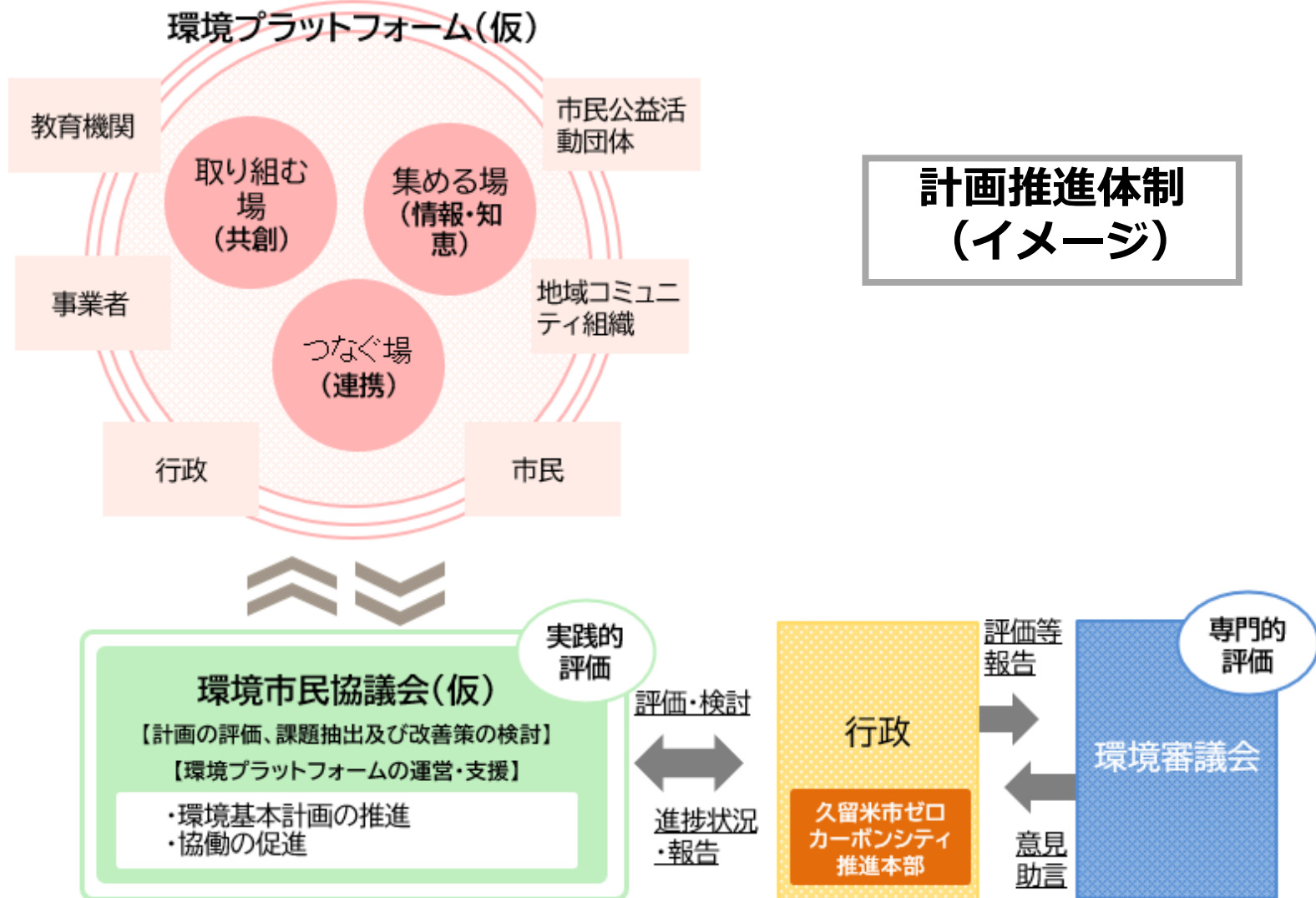
## 2 次期計画の概要について⑦

### (6) 重点テーマ

～協働の深化に向けた場や行動変容が加速する仕掛けづくり～

主な施策 ☆は新規・拡充	成果指標
☆協働の場づくり(環境市民協議会・環境プラットフォーム) ☆パートナーシップ構築・推進による行動変容の加速 (市民・事業者環境活動登録者)	市民・事業者環境活動登録者数 【10,000人(2030年度)】

## 2 次期計画の概要について⑧



各協議会等を統合。多様な主体で構成。実践的視点から、評価等を実施。  
 ○地球温暖化対策協議会 ○環境美化促進協議会 ○循環型ごみ処理委員会